

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業				事業番号	011-288
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
		有	取組の方向性	④障害のある子どもとその家族への支援					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2	
		有	取組	障害者児及びその家族に対する支援					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市子ども・子育て支援事業計画、第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画、第2期障害児福祉計画					
3	事業開始年度			令和 2 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			児童福祉法、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律					

事業の概要

6	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
7	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	医療的ケア児等の支援に携わる者、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等				対象数	単位
8	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	医療的ケア児等が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を養成するとともに、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等の連携体制を構築することにより、医療的ケア児等の地域生活支援の向上を図る。					
9	事業内容 (目的を達成するための手段)	厚生労働省が示すカリキュラムに基づき、障害児通所支援事業所、保育所、訪問看護ステーション及び学校等において、医療的ケア児等の支援を総合調整する医療的ケア児等コーディネーターを養成するための研修を実施する。					
10	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
11	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
12	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	社会医療法人ベガサス					
13	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等の連携体制構築						
	当該目標を設定した理由	医療的ケア児等の地域生活支援を向上するためには、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等の連携体制構築が必要ため。					
	目標に対する実績	医療的ケア児等への支援を総合調整するコーディネーターを関係機関等に配置					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	研修修了人数	人	目標値	25	25	25	
			実績値	30	26		
			達成率	120%	104%		
13	当該指標を選定した理由	医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等の連携体制を構築するためには、まず医療的ケア児等への支援に従事できる者を養成する必要があるため。					
14	目標値の設定根拠・算出方法	研修受講者募集人数					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業	事業番号	011-288
-------	-----------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	591	2,081	2,258	2,044	2,280
財源内訳	国支出金	287	1,036	1,104	1,021	1,135
	府支出金	143	518	552	0	0
	市債			0		0
	その他（研修受講負担金）	16	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0	0		0
	一般財源	145	527	602	1,023	1,145
14	人件費（b）	10,660	8,200	8,100	8,100	8,100
15	年間経費（c）=（a）+（b）	11,251	10,281	10,358	10,144	10,380

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	医療的ケア児等支援連絡会議出席謝礼など	決算		92	42	その他使用料及び賃借料	決算		0	0
		予算		284	142		予算		8	8
	消耗品費	決算		4	2		決算			
		予算		4	2		予算			
	役務費	決算		23	11		決算			
		予算		36	18		予算			
	医療的ケア児コーディネーター養成研修等委託料	決算		1,925	968		決算			
		予算		1,947	974		予算			
	旅費	決算		0	0		決算			
		予算		1	1		予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

単位	区分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 研修修了人数	人	30	26
	② 上記①にかかる年間経費	千円	1,903	1,925
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	63,433	74,039
備考（算出についての説明等）		②の年間経費は医療的ケア児コーディネーター養成研修等委託料		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	近年医療の進歩で医療的ケア児等の絶対数は増加している一方、地域での受け入れ体制は未だ整っておらず、医療的ケア児等への支援に携わったことのある支援者も少ないという現状において、豊富なカリキュラムによる本研修は、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等との連携体制を構築する人材の育成に資すると考える。 医療的ケア児等においては、病院から在宅への移行期、児童期、学齢期、成人への移行期など、各ライフステージにおいて、保健、医療、福祉、教育等の関係機関等との緊密な連携が必要とされ、支援には様々な分野の専門知識が求められることから、各関係機関等の本研修修了者を通して有機的に連携することで、円滑な支援に繋がると考える。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、地域の障害児通所支援事業所、訪問看護ステーション、保健医療機関、保育所・こども園及び学校等の職員に医療的ケア児に対する支援を総合調整する医療的ケア児等コーディネーターを養成するための研修を実施するものであり、障害のある子どもとその家族への支援に寄与している。
----	---